特集①

地域ぐるみで楽しく子育て！

ママ パパ たちの 本音座談会

ざっくばらんな

近年、少子化・核家族化で、子育てを巡る環境は以前と大きく変わりました。かわいいわが子を前にして、育児に悩み、不安やストレスを抱えることも少なくありません。

今回、現役子育て世代の体験談や率直な思いを語り合う座談会を開催しました。市民のみなさんにも気持ちを共有していただき、次代を担う“地域の宝”である子どもたちを、社会全体で守り・育む地域づくりについて考えます。

子育て支援センター

梶塚 直子保育士

梶塚 子育てをしていて、どんなときが大変って感じますか？

山下 出産直後は四国に住んでいたのですが、私の両親はすでに他界し、夫の実家も遠くて、夫以外の誰のサポートも受けられませんでした。友人もおらず独りぼっちでしたね。

梶塚 それは辛かったですね。

力久 私も産後2～3か月は外に出にくくて、家に子どもと二人きり。8か月たったころから外に出て、やっと気持ちの発散ができました。

田久保 うちは日中お昼寝をする弟と、幼稚園でお昼寝がない姉とで、夕方の行動がバラバラなんです。そんな中でもご飯を食べさせたり、お風呂に入れないといけません。17時以降は、ついイライラしてしまいます。

山下 うちの子は小さく生まれたため、「少しでも食べてほしい！」という思いが強いんです。だからせっかく作ったご飯を食べてくれないとショックを受けることもありました。

櫻井 わが家は男の子と女の子の双子で、生まれた時から性格が全く違いました。育児も初めての経験で、どう接していいか悩みました。仕事は自営業で、妻も働きに出ていますが、妻の帰りは21時を過ぎることも多く、双子の子どもの夕食でいつも悩んでいます。妻がいない時はお互いの実家で食事したり、自分が簡単な料理をします。外食になることもしばしばです。

5歳の双子のパパ

櫻井 茂光さん（二丈深江）

夫婦が協力して、同じ目線で子どもに関わることがたいせつですね

岡崎 うちも共働きで、現在3人目の子どもが生まれて妻は育児休業中です。帰宅後、私と妻で子ども1人ずつの相手をすると、もう1人が泣き出すんですよ。常に誰かの相手をして、ゆっくり休めなくて辛いと感じることもありますね。一人で3人の世話をしている妻はもっと大変なんでしょうが。

梶塚 育児だけでなく、生活・家事をこなすことは結構労力が必要ですよね。子どもは親の思いどおりに動いてくれませんからね。

田久保 自分に余裕がないときは、つい感情的になってしまいます。冷静に考えたら、怒らなくていいことだったりするんですけどね。

梶塚 余裕がないと優しくできないですもんね。

岡崎 土日に外で遊ばせたいけど、仕事で体力的に疲れて、なかなかできていないのが申し訳ないと感じています。

梶塚 自分のコンディションと子どものニーズをうまく合わせていくことって、なかなか難しいのかもしれませんね。

自分の趣味の時間もなかなか取れないと思いますが、どのように工夫されていますか。

山下 平日は外で一緒に遊んで、午後9時ごろに一緒に寝てしまいます。お昼寝もしなくなったので、ほとんど自分の時間はないですね。でも月に1度は夫が半日子どもの相手をしてくれるので友人とランチしたり、保育所の一時預かりを利用して夫とデートする機会もつくっています。子育てにも適度な休憩は必要ですよね。

梶塚 リフレッシュして新たな気持ちで子どもに接すると、優しくなれますよね。

岡崎 実家が近いので上の2人を預けて出かけることはあります。実家の協力はとてもありがたいと感じています。

梶塚 お父さんの育児参加はどうですか？

山下 平日は疲れて帰って来るのですが、土日は子どもを公園に連れて行ってくれます。食器洗いや料理もしてくれますよ。ブリ大根や茶わん蒸しが得意で、まさに100点パパです！

田久保 休みの日は、夫が洗い物の担当です。家電の清掃もやってくれるんですよ。

梶塚 みなさん協力的なんですね！

力久 うちは…夫の帰宅が午前0時を過ぎることもあって、子どもがまだあまり懐いていないんですよね（笑）。でも夫婦で話す機会はきちんと持つようにしています。よく話を聞いてくれるので助かります。

梶塚 子育て中の悩みが、「これで救われた！」ってエピソードはありますか？

田久保 ママ友だちの「頑張らなくっていいんだよ」の言葉で肩の力が抜けましたね。

力久 うちの子はハイハイが遅れていて悩んでいたんですが、支援センターの先生に「少しずつ練習すればできるようになるよ！」とアドバイスをいただいて安心しました。同じ悩みを持つお母さんとも「一緒に頑張ろう」って励まし合ったり。支援センターは利用して本当に良かったと感じています。

梶塚 そう言っていただいて、とっても嬉しいです！

櫻井 うちの場合は近所のお兄ちゃん・お姉ちゃんが子どもと遊んでくれていたので、本当にありがたかったです。子どもは子どもが大好きなんだなって思います。

岡崎 ついつい怒って子どもを泣かせてしまって反省しているとき、後で抱きついて来てくれたりすると救われますね。仕事で疲れて帰っても、みんながワーっと寄って来てくれるから、嬉しいですよ。

田久保 子どもからの言葉も嬉しいですよね。ご飯を口に入れた瞬間「んっ！うまい！」って完食してくれたり。

梶塚 子どもの反応で親が元気をもらい、喜びになることって素晴らしいですよね。

みなさんの経験から、これから子育てする人たちへアドバイスをお願いします。

山下 転勤族なので、最初は引きこもりがちになりとても辛い思いをしました。公園や支援センターなど活用し、どんどん外に出たほうがいいですよ。

田久保 深い相談ができる友だちができるといいですね。とにかくストレスをためないことが大事です。

力久 いずれ仕事に復帰するので、じっくり子育てに専念できるのは今しかない。きっと大変なのは今だけだし、子どもとこうして楽しく過ごせることは、とても幸せなことだと思います。ぜひ、子育てを子どもと共に楽しんでください！

櫻井 今の景気の状況から、きっと今後は共働き世帯が増加するでしょう。夫婦が協力して、目線を同じにしていくことがたいせつではないでしょうか。

岡崎 父親のみなさん、少しでも子育てに関わりましょう。子育てしてこそ、子どもから返ってくる反応が嬉しく感じられるものですよ！

3歳の1児のママ

山下 佳代さん（荻浦）

知らない土地で、産後すぐは引きこもりだったんですよ！

3歳・2歳の2児のママ

田久保 陽子さん（二丈深江）

相談に乗ってくれたり、いろいろ誘ってくれるママ友だち。彼女たちにホントに感謝しています

1歳の1児のママ

力久 恭子さん（波多江駅北）

じっくり子育てに向き合える今が、実はとても幸せなことだと感じます

4歳・2歳・0歳の3児のパパ

岡崎 康則さん（南風台）

疲れて帰宅しても、子どもたちが駆け寄って来てくれると癒やされますね